

# インテリジェント・エンタープライズの具現

賢明な舵取りを行うインテリジェントな企業は、これまでのビジネスの在り方を見直し、再構築しようとしています。

こうした企業が力を入れているのが、「信頼」と「成長」の間に、より強いつながりを築くことです。

単に事業目標の達成を目指すのではなく、市民、コミュニティ、社会に恩恵をもたらす形で組織を発展させようとしています。

自社のDNA、経営モデル、財務モデルにイノベーションのアーキテクチャーを根付かせることで、新しいレベルの成長と差別化を目指しています。

つまり、彼らが起こそうとしているのは、明確な目的を持ったイノベーションです。それを可能にするのが、あらゆる場面で利用可能な企業データと消費者データからなる「巨大な情報源」を活用した最新のテクノロジーです。

アクセントとオラクルは、顧客と従業員のやり取りを改善するソリューションの開発に、チャットボットや予測分析による意思決定などのAIを取り入れています。また、AIを活用することで、AIを社会における生産的な一員として行動できるように育てています。

仮想現実や拡張現実を利用して、人、情報、体験との距離を縮めようとしています。

ビジネスインサイトを妨げるギャップを解消し、新たな発見につながる道を切り拓こうとしています。

アクセントとオラクルは、クラウドトランスフォーメーションによる、強力なITアーキテクチャーの実装を支援しています。

データの整合性を図り、情報を価値あるものに変えることで、顧客の信頼を獲得し、信憑性の高い意思決定の自動化を実現します。

アクセントとオラクルは、大規模なパートナーシップを構築しています。

新たな収益源を開拓し、パートナー・ネットワークを迅速に拡大するためのアーキテクチャーを開発しています。

あらゆる業界において創造的破壊（ディスラプション）をもたらすオファリングを開発すべく投資を行い、ブロックチェーンを活用した取引を実現しています。

アクセントとオラクルは、企業のあらゆる業務にインテリジェンスを組み込んでおり、その範囲は人々の働き方や暮らしにまで広がりつつあります。

アクセントとオラクルは、クラウドとエッジ・コンピューティングのバランスを取り、あらゆる場面でインテリジェンスを提供するオラクルのクラウド・インフラストラクチャーを活用したハードウェア・アクセラレーションに焦点を当て直すことで、既存のITインフラストラクチャーの見直しを図っています。

アクセントとオラクルは、お客様がビジネスの見直しと変革により、インテリジェント・エンタープライズに生まれ変わるために支援をしています。